

ゆりがご えんだより

2020.6.1



2期(6~9月)のねらい
からだづり活動を通して子ども
関係の質を高めよう

北海道知事の緊急事態措置
による登園自粛要請期間中の、
保護者の皆様のご協力に感謝
します。おかげさまで職員も交替で
在宅勤務をすることができました。あ
りがとうございます。

そんなある日、2歳児の食事の様子を覗いてみました。5月に入園したばかりのJくんがどんな様子を見たかたのです。皆と一緒に食べていたJくんでしたが、なぜか急に泣き出してしまいました。私は、まだ園に慣れていないため、お母さんやお父さんが恋しくなったのかなと思いました。そんな新入園児の心細い気持ちを、知ってもらえたら、と思い周りの子たちに「どうして泣いているのだろうね？」と声をかけてみました。食べることに夢中の子どもたちの返事は「知らない」と素気ないものでした。

“そっか、まだ入園したばかりのJくんに対する仲間意識はそれほど無いのかもしれないな”と、後から「知ってる」の声が、Tくんです。Tくんによると「T先生が来たのに、すぐいなくな、たからだよ」ということでした。「え、そうなの？T先生がいなくな、たから泣いてるの？」と半信半疑できくと、うなずくJくん。「お母さんに会いたくな、たから泣いたの？」と聞くと首を横に振るのでTくんの言、たとおりのようでした。

この日、幼児クラスの保育士が在宅勤務のため、2歳児クラスのT保育士が応援に行、たのでした。幼児より早い時間に昼食を食べていた2歳児の様子を見ようと、チラッと音部屋を覗いたT保育士。JくんにとってT保育士は心を寄せることのできる大人だったので、安心できる存在のせんせいが顔を見せたのに、またいなくな、たため悲しくな、たようでした。ことばを介さなくても、まわりの状況から他者の気持ちを理解したTくんにとっても驚きました。ことばで関わることはもちろん大切ですが、相手の思いを理解したり共感する気持ちも育て、ほしいなと思います。

ちなみに、この件を午睡後にTくんに確認しようとしたのですが、「え、なんのこと？」というような表情で全く覚えていないようでした。Tくんにとっては印象深いことではな、たのか。それとも2歳児の記憶はそれほど逆、れな、いのか…。子どもたちと関わると、改めて感心することや面白い発見がたくさん!!